

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	庁舎管理事業			
担当部・課名	上下水道局総務課	評価者(課長)	杉岡 清伸	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900304	分野	9行政経営	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	3持続可能な財政運営			補助・単独の別	
	推進施策	(4)特別会計および企業会計の経営健全化			会計名	

事業の目的(対象)	上下水道局舎	事業の目的(意図)	効率的に維持管理を行い、適正な執務環境を確保する。
事業の内容(手段)	老朽化が著しい局舎の維持管理業務		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					庁舎の維持管理費用	予算額に対する執行額を5%削減することを目標とする。	円
					実績値	23,273	21,033
					達成度(%)	89.5%	98.8%

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	21,923	21,877	16,283	3,669
うち一財		千円					
(決算額)	直接事業費	千円	23,273	21,033			対30年度増減理由
	うち一財	千円					対31年度増減理由
	正職員人件費	千円	5,862	5,894			旧上下水道局庁舎は市長部局と共同で倉庫等として活用中
	人工数	人	0.80	0.80	0.80		
	支出コスト	千円	決) 29,135	決) 26,927			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	施設、設備ともに老朽化が著しいが、応急的な修繕で執務環境が保たれている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 新庁舎移転後は、効果的な①現上下水道局庁舎の財産管理及び②新庁舎での管理と運用を検討する必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	エアコンの故障のため、費用が増大した。旧設備のため予想外の支出増となった。
	事務事業の方向性	上下水道局庁舎の財産管理、新庁舎での適正な管理と運用の検討		評価責任者コメント	平成30年7月から、新庁舎での執務となる予定である。事務事業の方向性のとおり、必要最小限の経費に留める必要がある。また、現上下水道局舎の財産管理を検討する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
移転に伴い、旧上下水道局庁舎は、市長部局と共同で倉庫等に活用している。今後も経費の節減に努める。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	庁舎維持管理事業	局舎の老朽化は進んでいるが市の新庁舎建設に併せ、極力最小限の修繕にとどめ、前年度の予算を上回らないように努める。	特に大きな修繕等もなく、執務環境は保たれている。	21,033	0.80		
				否			
②							
③							
④							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	人事管理関係事業			
担当部・課名	上下水道局総務課	評価者(課長)	杉岡 清伸	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900304	分野	9行政経営	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3持続可能な財政運営			補助・単独の別	
	推進施策	(4)特別会計および企業会計の経営健全化			会計名	

事業の目的(対象)	上下水道局職員	事業の目的(意図)	研修等により職員の技術力向上を図り、また、職員が健康な心身で公務に専念できるように体制を整え、効率的な事業運営を可能とする。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験年数に応じて研修を受講させ、技術力向上を図る。</li> <li>・随時組織を見直し、効率的な組織体制を目指す。</li> <li>・安全衛生委員会等により職員が公務に専念できる体制を作る。</li> </ul>		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
職員削減数		組織の見直し等により削減した職員数(比較は該当年度末職員数と翌年度当初の職員数)	人	目標値	1.0	1.0	1.0
				実績値	2.0	5.0	
				達成度(%)	200.0%	500.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	3,266	3,530	3,409	3,962
	うち一財	千円					
(決算額)	直接事業費	千円	2,964	2,916		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円					
	正職員人件費	千円	23,446	23,578			
	人工数	人	3.20	3.20	3.20		
	支出コスト	千円	決) 26,410	決) 26,494			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・H23.4.1に上下水道の組織統合により、下水道部門職員の人事関係業務も行うようになった。また、組織統合により市長部局と上下水道局との人事交流が増え、管理するデータ量が増加している。 ・H28には、熊毛・鹿野地区の簡易水道事業の統合や、また新庁舎への配置など、今後ますます人事管理関係事業の見直しが必要になってくる。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 人員削減は、前倒し的に実行してきた。知識・技術の継承という観点から、職員育成の充実が必要
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	新庁舎に入ること、業務や組織の見直しを進めていく必要がある。		評価責任者コメント	事務事業の方向性のとおり、進めていくこと。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
職員育成のために、研修に係る費用を増額した。今後は、外部研修の充実に合わせて内部研修についても研究・検討を進める。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	職員研修事業	職員の能力向上に役立つ実技演習を実施する研修に体系的に参加させ、職員のスキルアップを目指す	職員延べ45人が研修会や講演会に参加	1,052	0.30		
				否			
②	人事管理事業	市の定員適正化計画に併せ、適正な職員数を目指す。H30年4月1日現在の上下水道局職員数:98人(管理者・再任用短時間を除く。)	H29年度とH30年度の当初を比較すると職員削減数は5人。再任用短時間勤務者増は1人。	659	2.20		
				否			
③	職員健康管理事業	職員定期健康診断、人間ドックの全員受診及び安全衛生委員会の定期的開催	産業医による健康相談を実施し、職員の健康管理に努めた。	1,205	0.70		
				否			

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	財産管理事業			
担当部・課名	上下水道局総務課	評価者(課長)	杉岡 清伸	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900304	分野	9行政経営	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	3持続可能な財政運営			補助・単独の別	
	推進施策	(4)特別会計および企業会計の経営健全化			会計名	

事業の目的(対象)	上下水道局職員が使用する公用車、パソコン及びインターネットサービス等	事業の目的(意図)	資産の有効的活用を図り、効率的な事業運営を目指す。
事業の内容(手段)	公用車及びパソコンについては、総務課で一括管理し、効率的な運用を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	10,578.0	8,224.0
財産管理費用		予算額に対する執行額を5%削減することを目標とする。	円	実績値	10,060.0	9,004.0	
				達成度(%)	103.8%	91.3%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	11,134	8,656	8,340	8,757
うち一財		千円					
(決算額)	直接事業費	千円	10,671	9,004		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円					
	正職員人件費	千円	7,327	5,894			
	人工数	人	1.00	0.80	0.80		
	支出コスト	千円	決) 17,998	決) 14,898			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○H23.4.1に上下水道の組織統合により、職員数や施設が増加。職員数:47人、施設:3か所増加 ○新庁舎に平成30年7月末入居予定		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 新庁舎での適正な公用車の運用と負担等について、市長部局と決める必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	新庁舎での適正な公用車の運用と負担 平成31年3月を目途に、情報系のネットワークは市長部局と統一する。		評価責任者コメント	事務事業の方向性のとおり、進めていくこと。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
市長部局との情報系ネットワークの統一に向けて作業を進める。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	公用車管理事業	公用車の適正管理と環境に配慮した運用	6月点検・12月点検等確実に実施	4,250	0.40		
				否			
②	パソコン及びインターネットサービス管理事業	パソコンの適正配置及びメールサービスで容量を超えないように管理を徹底	パソコンの故障が増加し始めたので、予備機を購入した。	4,754	0.40		
				否			
③							
④							
⑤							